

東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

洋野町 調査総括表(1/6)

調査番号	その1	県名	岩手県	市町村名	洋野町																
<b>1. 被害の状況等</b>																					
(1) 被災前の人口(H22.10.1)			(2) 浸水被害状況図																		
総人口	17,913 人																				
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">年齢階級別人口</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>0-14 歳</th> <th>15-64 歳</th> <th>65 歳以上</th> </tr> <tr> <td>人口(人)</td> <td>2,292</td> <td>10,154</td> <td>5,467</td> </tr> <tr> <td>比率(%)</td> <td>12.8</td> <td>56.7</td> <td>30.5</td> </tr> </table>						年齢階級別人口				項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上	人口(人)	2,292	10,154	5,467	比率(%)	12.8	56.7	30.5
年齢階級別人口																					
項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上																		
人口(人)	2,292	10,154	5,467																		
比率(%)	12.8	56.7	30.5																		
(2) 人的被害の状況(H23.12.31)			<p>凡例 建物の被災状況のエリア ■全壊区域 ■半壊区域 ■一部損壊区域</p> <p>沿岸部拡大図 種市地区 R45 町役場 種市庁舎 八木地区 町役場 大野庁舎 R395 ※全域都市計画区域外</p>																		
死者	0 名																				
行方不明者	0 名																				
(3) 都市計画等の状況																					
都市計画区域	都計外																				
市街化区域	—																				
用途地域	—																				
(4) 建物等被災の状況 ※割合は行政区画等の各区域に示す割合																					
区域	総面積 (ha)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域		流出棟数													
		面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)														
行政区画	30,320	23	0.1	3	0.0	150	0.5	81													
都市計画区域	—	—	—	—	—	—	—	—													
用途地域	—	—	—	—	—	—	—	—													
<b>2. 復興計画の策定状況</b>																					
(1) 復興計画等の策定状況																					
	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント																	
復興計画	洋野町震災復興計画	平成 23 年 7 月 28 日	有	有																	
その他の方針・計画	洋野町復興ビジョン	平成 23 年 6 月 6 日	有	無																	
(2)復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)																					
【洋野町震災復興計画】																					
第 3 回町東日本大震災復興本部会議 (7 月 28 日開催、洋野町震災復興計画決定)																					
【洋野町復興ビジョン】																					
第 2 回町復興ビジョン原案作成会議 (5 月 25 日開催、洋野町復興ビジョン原案作成)																					
第 1 回町東日本大震災復興本部会議 (6 月 1 日開催、洋野町復興ビジョン決定)																					

洋野町 調査総括表(2/6)

3. 復興計画の概要(市町村全体)			
(1) 整備の基本的な考え方	(2) 整備にあたっての基本的な方針	(3) 復旧構想図(市町村全体対象)	
<p>■災害に強いまちづくり</p> <p>防潮堤の整備、水門・河川護岸堤の整備、防災・避難施設の整備、道路網の整備を進める。</p> <p>・町内は沿岸部を中心に被災しており、特に八木地区は、今次津波により全壊 51 棟、大規模半壊 13 棟など大規模な建物被害が発生している。同地区は、明治および昭和の三陸大津波で大きな被害を受けた地区であるが防潮堤が整備されないまま現在に至っており、今後、災害に強いまちづくりを推進することが必要である。</p> <p>※八木地区の防潮堤整備や移転、宅地嵩上げ等について総合的に検討中。</p> <p>・他地区については、現在の土地利用を基本として復旧</p> <p>■ 町民生活の再生</p> <p>生活支援の充実、雇用対策と就業支援、事業所の経営支援、J R 八戸線の復旧を進める。</p> <p>■ ウニの里と地域産業の復興</p> <p>ウニ増殖溝等水産施設の復旧、ウニの里づくりの支援、八木魚市場の復興、漁港の復旧、地域産業の振興を進める。</p>	<p><b>海岸堤防整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ L1(昭和三陸地震)対応の防潮堤整備</li> <li>※L2(東日本大震災、明治三陸地震)</li> <li>洋野・久慈北海岸(T.P. +12.0m)：既往計画</li> </ul>		
	<p><b>河川堤防整備方針</b></p> <p>—</p>		<p><b>2線堤等の方針(含む緑地)</b></p> <p>—</p>
	<p><b>市街地整備の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住家被害のあった八木地区では、防潮堤の整備と移転、宅地嵩上げを総合的に検討中。その他の地区は、現在の土地利用を基本</li> </ul>		<p><b>交通体系の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 八戸線 平成 24 年 3 月 17 日に全線運行再開予定(従前位置での復旧)</li> <li>・ J R の緊急停止に伴う鉄道敷からの避難路・避難階段の整備</li> </ul>
	<p><b>避難体系の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八木地区における防災センター等の整備</li> <li>・ 防災行政無線等の整備による情報伝達体制の充実強化</li> </ul>		<p><b>産業地域の復旧方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産関連施設は従前位置での復旧</li> </ul>
	<p><b>地区別の方針の概要</b></p> <p>【八木地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防潮堤の整備、周辺の安全な場所への移転、現地での宅地嵩上げについて、総合的に検討中。</li> <li>・ 今後、住民意向を踏まえながら、市街地の復興方針をまとめていく予定。</li> </ul> <p>【種市地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町の観光拠点である海水浴場やキャンプ場、フィッシャリーナなどの種市海浜公園エリアの復旧・復興を推進。</li> </ul>		
	<p><b>地区名</b></p>		<p><b>復興の基本的な考え方</b></p>
<p>八木地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防潮堤整備、移転、宅地の嵩上げについて総合的に検討する。</li> <li>・ 防災センターの整備等を行う。</li> <li>・ 八木魚市場の再建を行い、水産業の拠点とし活性化を図る。</li> </ul>		
<p>種市地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウニの里と地域産業の復興を図る。</li> <li>・ 種市海浜公園施設および護岸、フィッシャリーナ施設の復旧を図る。</li> </ul>		
<p>—</p>	<p>—</p>		

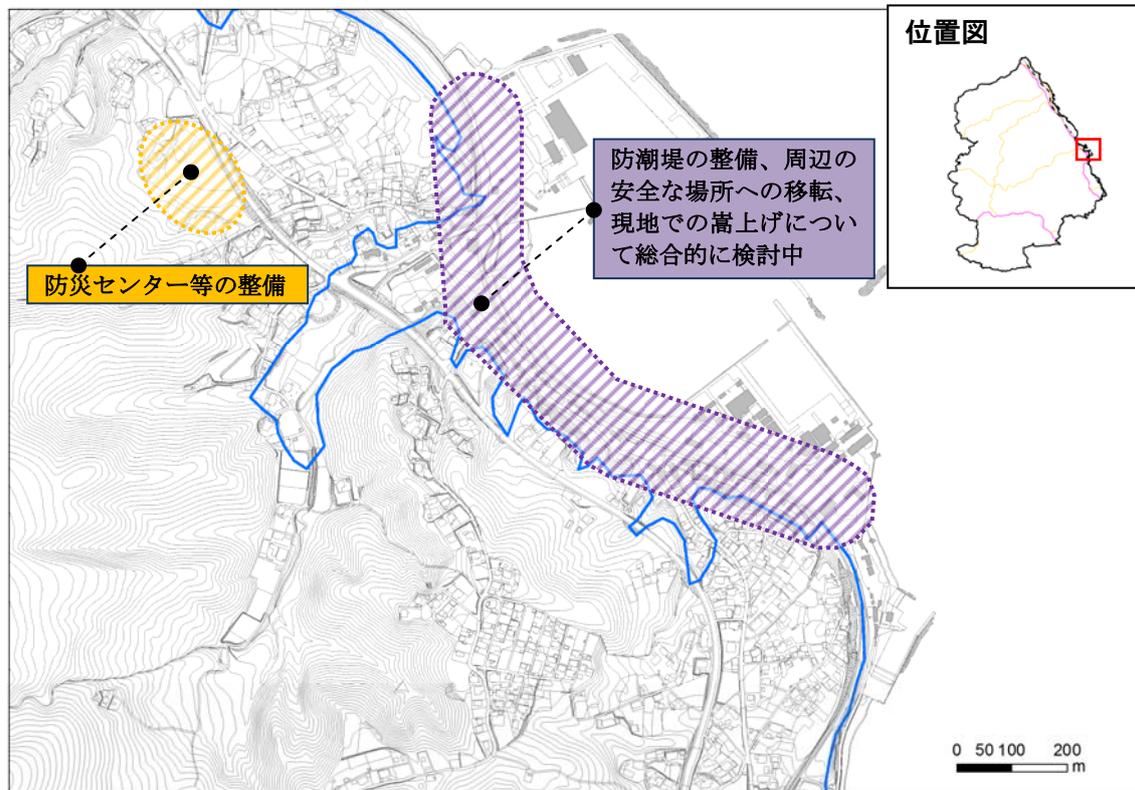
東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

洋野町 調査総括表(3/6)

4. (1) 地区別復興方針(1)		八木地区			
<b>(1) 地区の概況</b>					
面積(ha)		都市計画	都計外	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況	沿岸区域は漁業関連施設(漁協・魚市場、民間加工工場等) JR八戸線以西は住宅地				
被災の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高: T.P.+11.60m</li> <li>・流出棟数等: <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊(流出)</li> <li>全壊(取り壊し)</li> <li>全壊(条件付き再生可)</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; margin-left: 200px;">} 51棟</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模半壊 13棟</li> <li>半壊(床上浸水) 23棟</li> <li>一部損壊(床下浸水) 14棟</li> </ul>				
復興方針策定上留意すべき特徴	・住宅地の背後がすぐに急傾斜地となっており、防潮堤の整備については地形的な制約あり。				
<b>(2) 地区の整備方針</b>					
復興のパターン	検討中				
堤防等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備の有無 (既往計画では、計画施設高 T.P.+12.0m として海岸保全施設の計画があるが、八木地区の土地利用を踏まえた堤防高等を現在検討中)</li> <li>○ 堤防高 (同上)</li> <li>○ 整備主体 岩手県</li> <li>○ 河川堤防の考え方 -</li> <li>○ 二線堤の考え方 -</li> </ul>				
市街地の整備方針	基本的方針	防潮堤の整備、周辺の安全な場所への移転、 現地での宅地嵩上げ、防災拠点、避難場所および避難路等の整備について総合的に検討中			
	現位置整備地区の方針				
	移転区域の方針				
	土地利用規制の方針				
	公共公益施設の方針				
	その他特記すべき方針				
	整備スケジュール				
避難計画の考え方	防災センター、避難路、避難看板等の体系的な整備 防災行政無線等の整備による情報伝達体制の充実				
<b>(3) 実現に向けての課題</b>					
実現に向けての課題	住民意向、地形的制約も踏まえた復興手法案のとりまとめ、および地元住民の合意形成				
<b>(4) 比較した代替案</b>					
上記以外の比較案	上記構想案採用に至った理由				
防潮堤の整備、周辺の安全な場所への移転、 従前位置での宅地嵩上げ	左記について総合的に検討中				

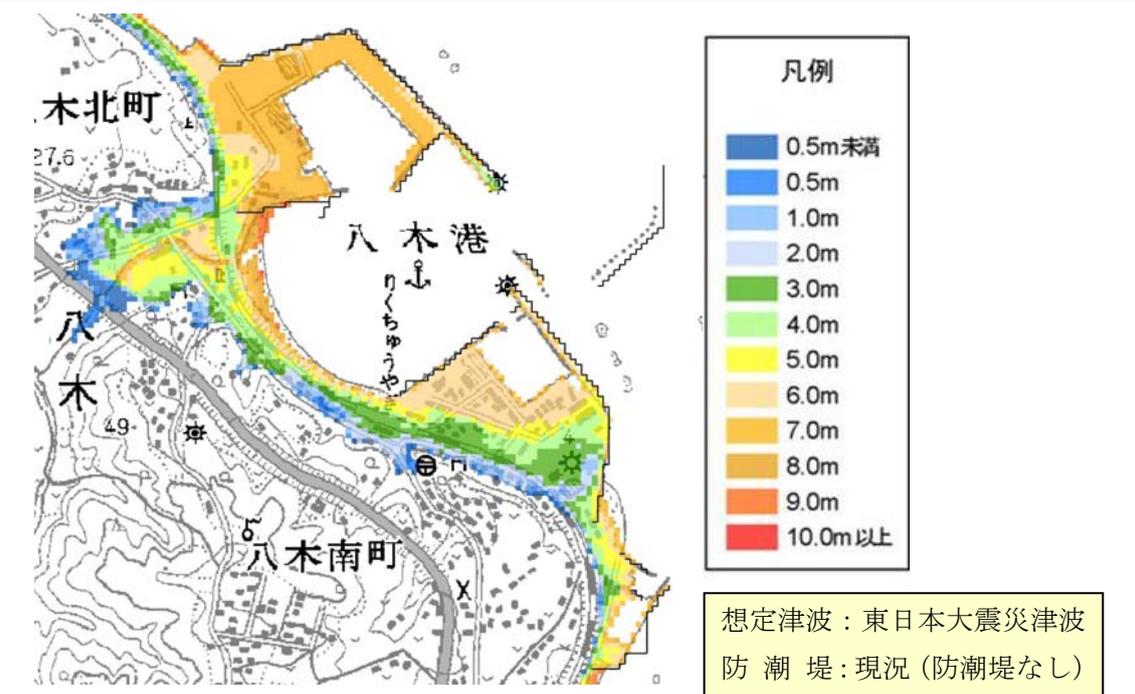
洋野町 調査総括表(4/6)

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)



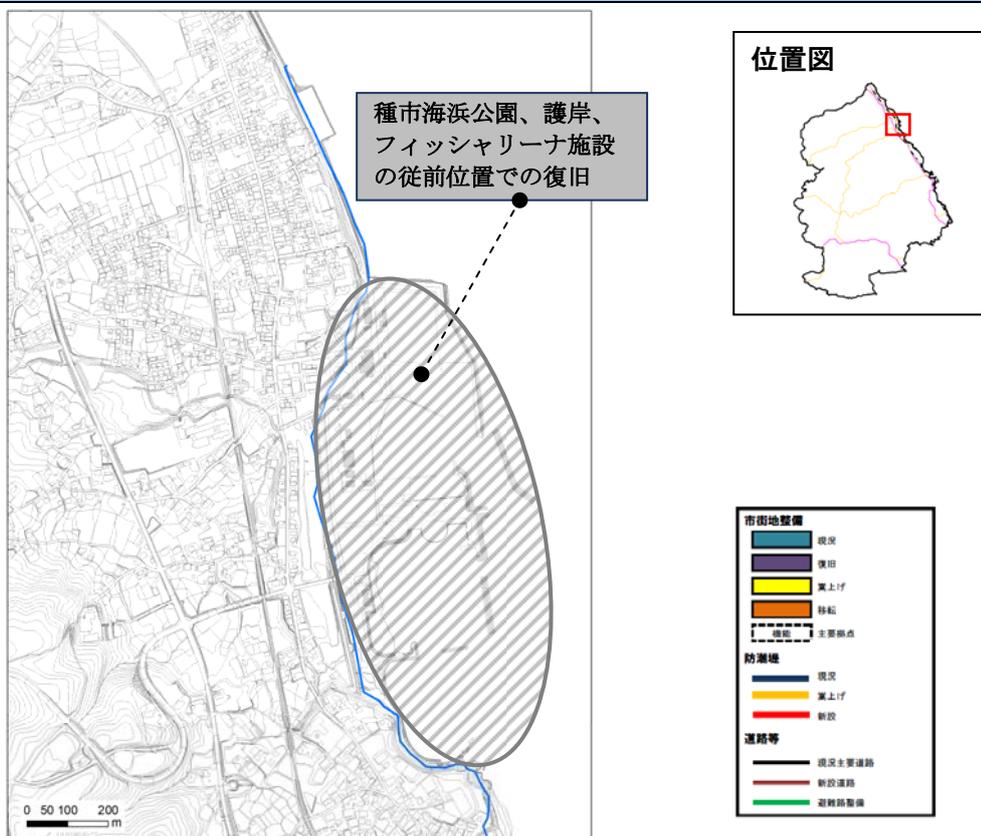
東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

洋野町 調査総括表(5/6)

4.(2) 地区別復興方針(2)		種市地区			
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	都計外	役場・支所等	含む
土地利用(被災前)概況	漁業関連施設(漁協、魚市場、種苗センター、民間工場等)、種市海浜公園(※住宅地は背後の高台に位置)				
被災の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高: T.P.+9.0m</li> <li>・流出棟数等: <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊(流出)</li> <li>全壊(取り壊し)</li> <li>全壊(条件付き再生可)</li> </ul> </li> </ul> <div style="margin-left: 140px;">} 6棟</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模半壊 3棟</li> <li>半壊(床上浸水) 6棟</li> <li>一部損壊(床下浸水) 13棟</li> </ul>				
復興方針策定上留意すべき特徴	-				
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン	A-①				
堤防等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備の有無(現行まま)</li> <li>○ 堤防高 (T.P.+12.0m) (想定津波:L1)</li> <li>○ 整備主体 岩手県</li> <li>○ 河川堤防の考え方 -</li> <li>○ 二線堤の考え方 -</li> </ul>				
市街地の整備方針	基本的方針	・種市海浜公園施設及び護岸、フィッシャリーナ施設の復旧を図る。			
	現位置整備地区の方針	嵩上げ盛り土: なし 土地利用の変更: なし 整備手法: 現況復旧			
	移転区域の方針	-			
	土地利用規制の方針	現況土地利用			
	公共公益施設の方針	現況施設配置			
	その他特記すべき方針	-			
	整備スケジュール	-			
避難計画の考え方	現況施設対応での避難誘導の維持				
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題	-				
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案	上記構想案採用に至った理由				
-	産業関連施設、公園等の利用が主であり、従前位置での復旧を採用した。				

洋野町 調査総括表(6/6)

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

